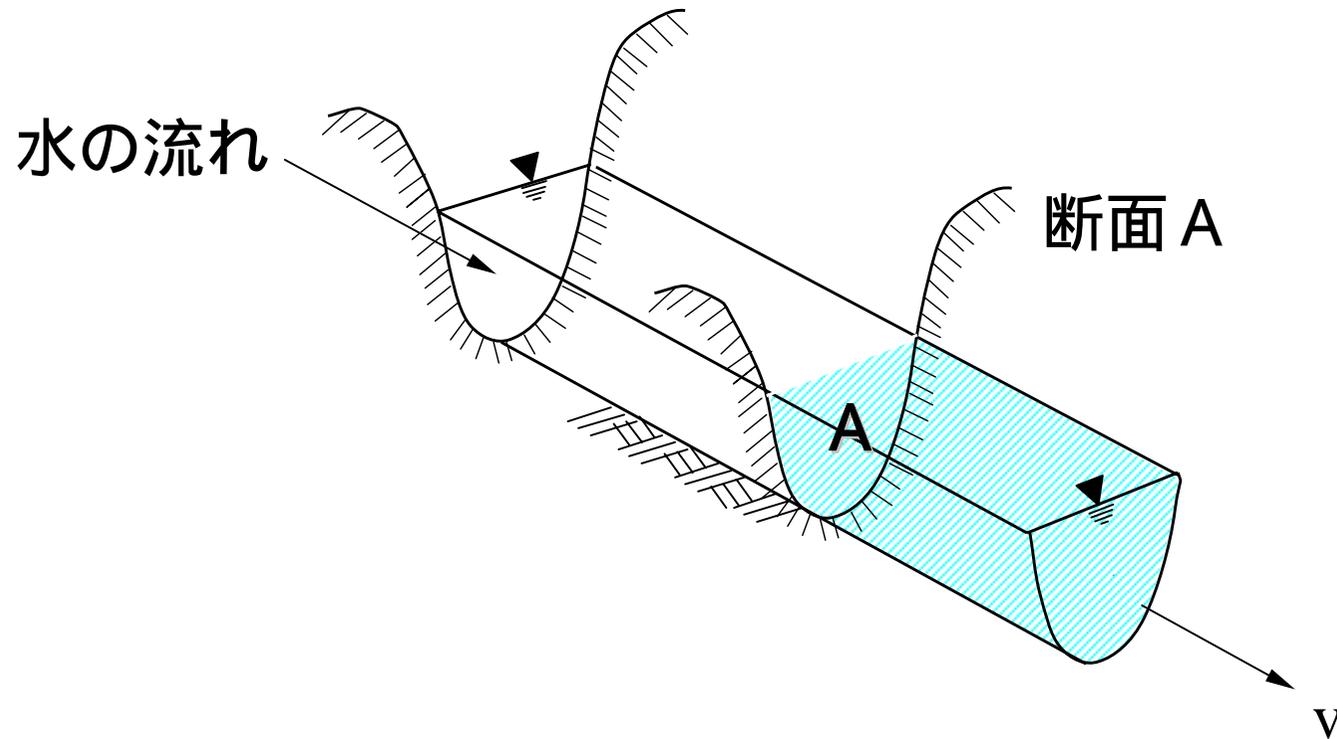


第2章 災害の発生防止 又は軽減に関する事項

第1節 紀の川を襲った 洪水の概要

第1項 主要洪水の被害状況

流量とは

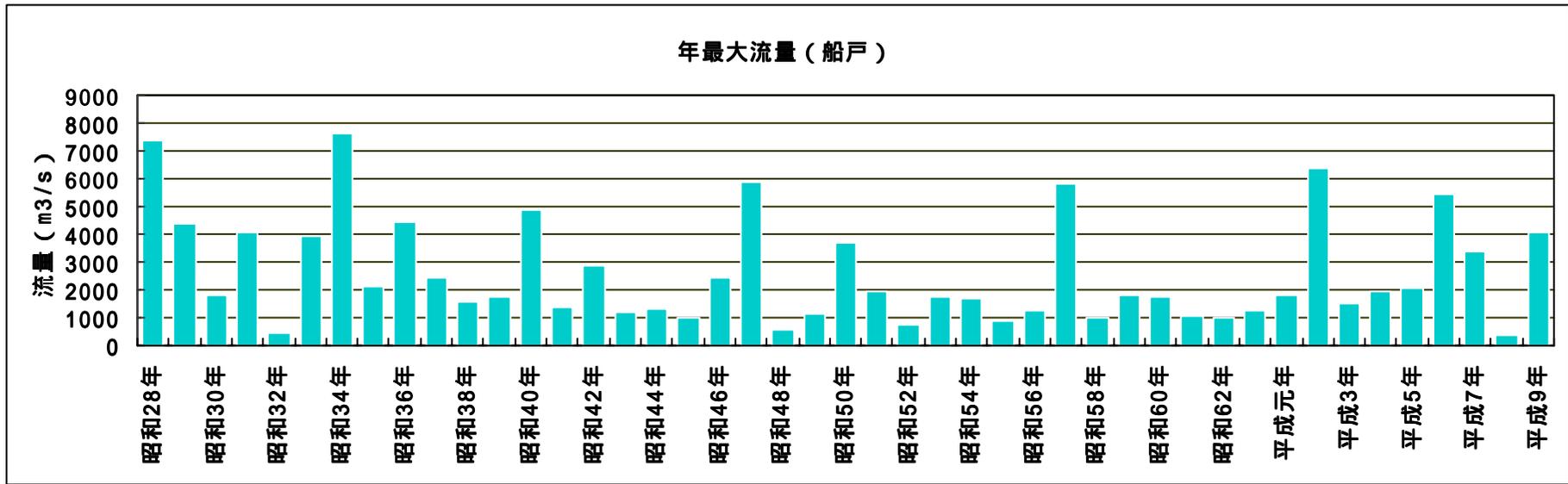


- 流量とは川の中を流れる水量を表し、断面積 (A) と流速 (v) を掛け合わせた量となります。

例えば、断面積 $8,000 \text{ m}^2$ で流速 1 m/s なら

$$8,000 \text{ m}^2 \times 1 \text{ m/s} = 8,000 \text{ m}^3/\text{s}$$

主要洪水一覽



既往洪水による被害状況

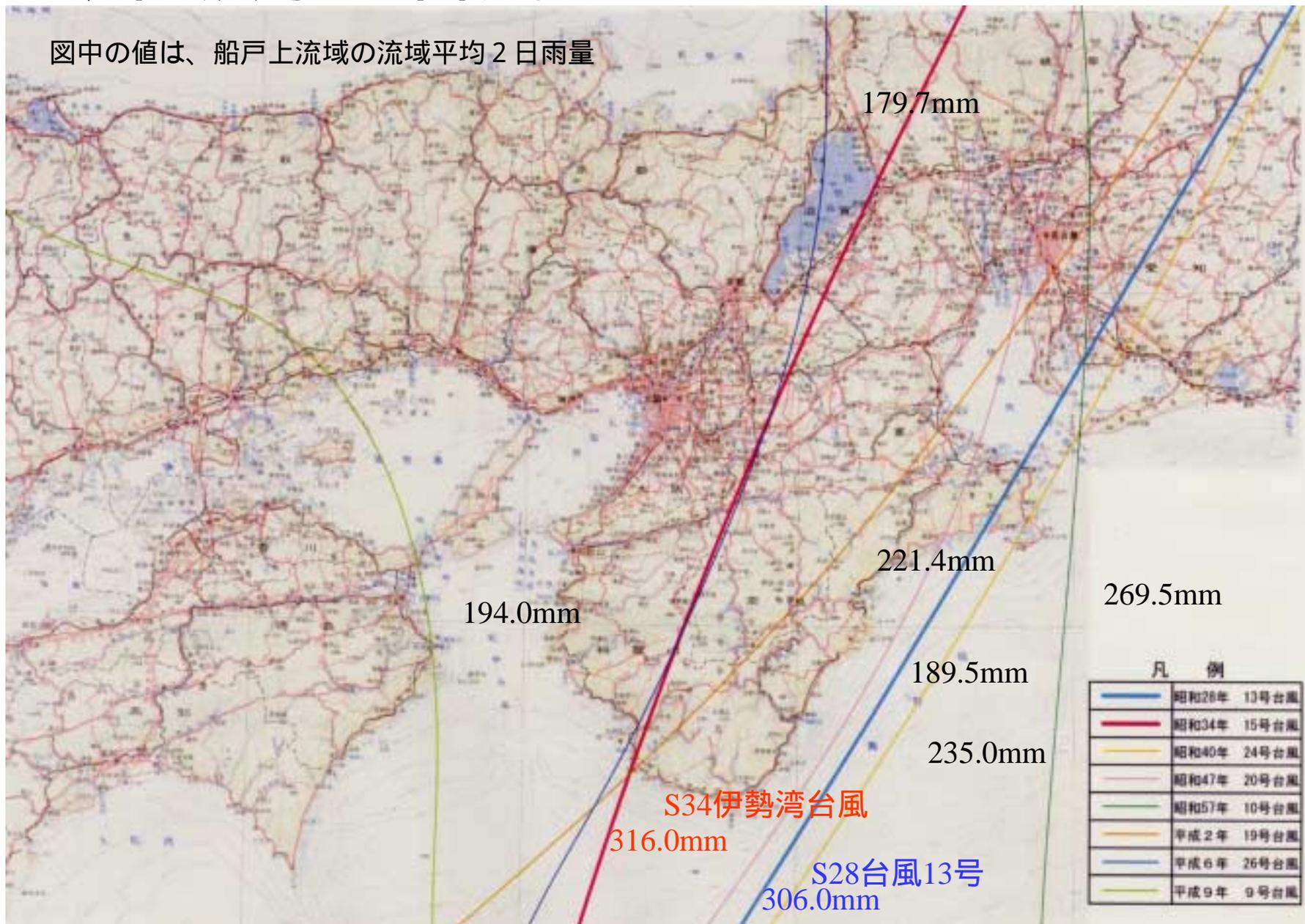
洪水名	要因	流域平均2日雨量	流量 (m ³ /s)	死傷者 (人)	被害建物		
		船戸上流(mm)	船戸		全半壊等 (戸)	床上浸水 (戸)	床下浸水 (戸)
S28年7月	前線	212.1	-	981	1,327	2,103	8,165
S28年9月	台風13号	306.0	7,360	91	1,546	4,035	7,473
S31年9月	台風15号	315.4	4,075	-	-	-	-
S33年8月	台風17号	265.6	3,911	3	6	62	148
S34年9月	伊勢湾台風	316.0	7,650	71	347	3,180	1,917
S36年10月	前線	301.5	4,466	-	1	28	170
S40年9月	台風24号	235.0	4,866	-	-	398	3,588
S47年9月	台風20号	189.5	5,876	-	-	22	2,362
S57年8月	台風10号くずれ低気圧	269.5	5,810	-	-	91	1,458
H2年9月	台風19号	221.4	6,379	-	-	22	144
H6年9月	台風26号	179.7	5,430	-	-	-	7
H9年7月	台風9号	194.0	4,078	-	-	2	9

出典：被害 和歌山市災害史、水害統計

流量 流量年表より記載

既往洪水の台風コース

図中の値は、船戸上流域の流域平均2日雨量



等雨量線図（2日雨量）

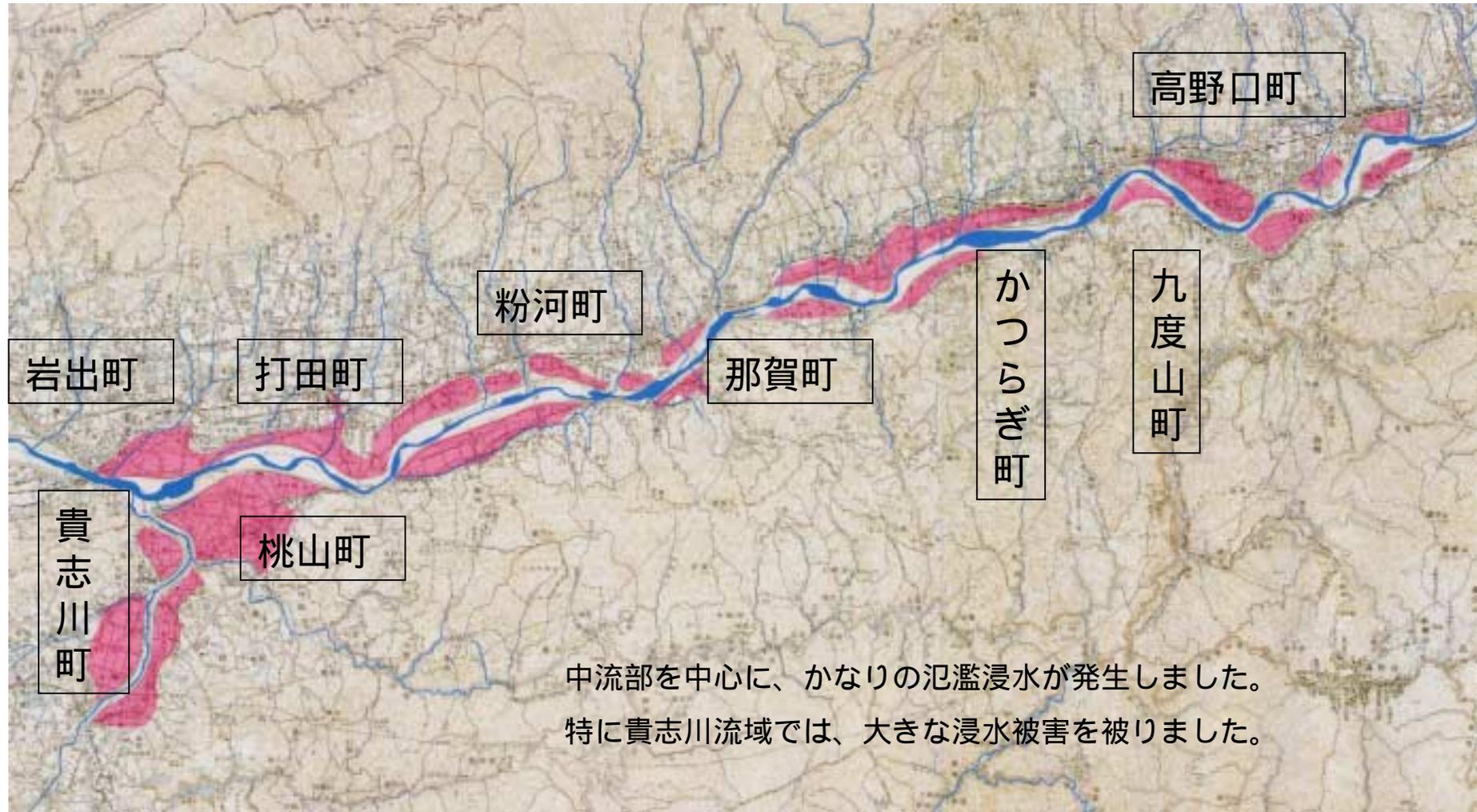
< 昭和28年7月 前線 >

中下流部で大きな雨量をもたらした台風で、中流部の高野山で452mmを記録。



実績氾濫区域図（S28.7洪水）

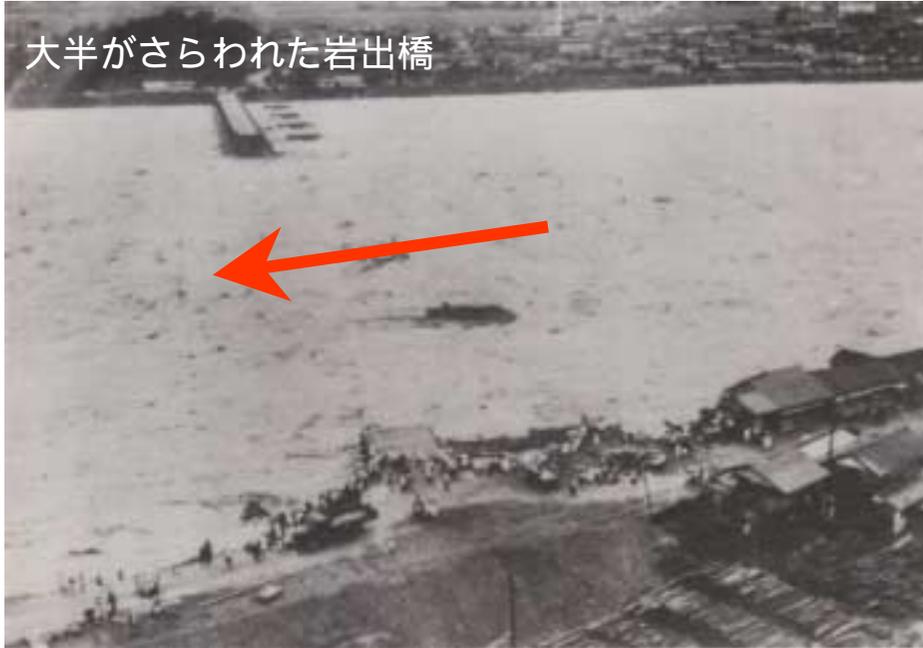
岩出付近～橋本付近



1/50,000地形図より

被害状況

大半がさらわれた岩出橋



那賀郡桃山町高島付近。貴志川の大氾濫により、桃山町、貴志川町は甚大な被害を受ける。



昭和28年7月の梅雨前線による洪水では、紀伊丹生川や貴志川等において、小中学校が流されるなどの大被害が発生しました。



等雨量線図（2日雨量）

< 昭和28年9月 台風13号 >

大台ヶ原で935mmを記録。

中流部の高野山で400mm程度、下流部の砂山でも200mm程度の降雨を記録しました。



被害状況



昭和28年9月 台風13号
死傷者91人、全半壊等1546戸、
床上浸水4035戸、床下浸水7473戸



昭和28年9月に襲来した台風により、
橋本、岩出、和歌山市などの中下流
で特に大きな被害が発生しました。

等雨量線図（2日雨量）

< 昭和31年9月 台風15号 >

この台風では下流部で多く雨が降り、東野上で491mmを記録。

一方、上流の大台ヶ原では400mm程度、中流の橋本では270mm程度でした。



等雨量線図（2日雨量）

< 昭和33年8月 台風17号 >

上流多雨型の台風であり、筏場で921mmを記録。

一方、中流の応其で130mm程度、下流の岩出では80mm程度でした。



等雨量線図（2日雨量）

< 昭和34年9月 伊勢湾台風 >

極めて上流多雨型の降雨であり、八幡平付近で1,200mmを超える雨量を記録。

上流に比べて中下流部での雨量は少なく、中流部の高野山で200mm程度、下流部の岩出では50mm程度でした。

